

子どもに 安全・安心な まちづくり

武蔵野市では、市民が安心して地域で過ごすことができるように、さまざまな取り組みを行っています。

全国では子どもに対する犯罪がたびたび発生しており、市内でも子どもへの声掛けなど、不審者の事案が発生しているのが現状です。

市では、「令和3年度武蔵野市生活安全計画」の重点目標として「子どもに安全・安心なまちづくりの推進」を掲げており、市独自の青色防犯パトロール隊「ホワイトイーグル」による、小学校や保育園などの巡回をはじめ、市民で構成された市民安全パトロール隊の隊員による登下校時の見守りなど、子どもの安全・安心を守る取り組みを長年に渡って続けてきました。

今回はその取り組みの一部にスポットを当ててご紹介します。



武蔵野全域パトロール ホワイトイーグルに密着!



武蔵野市内で、屋根に青い回転灯を点灯して走るパトロールカーを見つけたことはありますか。これは、市内を巡回する青色防犯パトロール隊「ホワイトイーグル」です。

平成13（2001）年に大阪府池田市の小学校で起きた児童殺傷事件など、当時の社会状況を背景に制定した「武蔵野市生活安全条例」に基づき、市民の安全を守るために、平成14（2002）年に開始したものです。市内の東地区・中央区・西地区の3つの地区を3台のパトロールカーで巡回しています。

小学校や保育園などの子ども・子育て関連施設に立ち寄り、安全確認とともに不審者情報なども伝達しています。

START

1 午前7時
パトロール出発

まず小学校の登校時間帯に合わせて通学路周辺をパトロール。白いボディの側面にワシの翼をかたどった青のライン、青い回転灯を点灯させて走るパトロールカーは抑止効果も含めて目立ついでたちで、子どもたちにも人気です。手を振ったり敬礼をしてくれる子どもいます。

2 午前9時
朝礼

ホワイトイーグルの隊員全員と安全対策課職員で朝礼。報告事項や業務の確認などを行います。毎週月曜日には武蔵野警察署に出向き、地域で発生している不審者の事案などについての情報共有も行っています。

では、行ってまいります!



安全確認と情報共有をしっかりと

4 午後2時
市から緊急指示

「周辺で特殊詐欺の電話が多数かかっている」との情報や、警察から市の安全対策課を通してホワイトイーグルに伝達されました。すぐに特殊詐欺被害への注意を促すアナウンスを流しながらの走行に切り替えます。このように、何か動きがあれば臨機応変に対応して犯罪の未然防止に努めます。



セーフティ教室などでは、音楽を通じて子どもたちにホワイトイーグルに親しみをもってもらおう工夫をしています

子ども関連施設の職員の方に「1日1回、来てくれるだけで安心する」と言われると、役に立っているなとうれしくなります



今回の密着にご協力いただいた隊員

ホワイトイーグルによる セーフティ教室・防犯講話も実施

市内の小学校や保育園、児童館、地域子ども館「あそべえ」などの子ども・子育て関連施設で、子どもたちに防犯意識をもってもらうために実施されるセーフティ教室や防犯講話などでもホワイトイーグルは活躍しています。音楽や寸劇を取り入れるなど、隊員がそれぞれの特技を生かして、子どもたちに分かりやすく伝える工夫をしています。パトロール隊員によるこうした活動は、都内でも珍しいようです。



ホワイトイーグルです！



各施設訪問の様子

ホワイトイーグルは月曜から土曜まで、日曜・祝日を除く毎日、市内巡回パトロールと、小学校や保育園など、市内約140カ所の子ども・子育て関連施設への立ち寄りを実施します。教員や施設の職員の方たちと安全確認を行い、周辺での不審者情報などを共有します。さらに、公園や福祉施設、空き家など、市内約120カ所の周辺警戒も行います。

3 午前9時すぎ パトロール再開



朝礼の様子



5 午後7時 パトロール終了

1日のパトロールを終え、3台のパトロールカーはそれぞれ市役所へと戻ります。市民の安全と安心を守るため、毎日車両の整備を行い、明日に備えます。



市から地域の防犯情報が飛び込む

ホワイトイーグルの活動時間は午前7時から午後7時まで。吉祥寺駅周辺を見回る武蔵野市安全パトロール隊「ブルーキャップ」、深夜帯のパトロールを担う「吉祥寺ミッドナイトパトロール」と合わせて、市民の安全・安心を見守っています。各隊員は専門的な教育と訓練を受けた防犯のプロフェッショナルです。



この車両・このマークが目印！



安全・安心な地域を支える市民の活動

市としての安全・安心なまちづくりへの取り組みだけでなく、
武蔵野市には市民の方たちによる独自の防犯組織が数多く存在します。
地域のことを熟知した市民だからこそ、ちょっとした周囲の変化に気づくこともできます。
子どもたちの安全・安心を見守る市民による防犯パトロールの活動を紹介します。

＼ 地域愛で子どもたちの安全を見守る ／

武蔵野市市民安全パトロール隊



合同パトロールで、警察・市と一緒に危険箇所などを点検する様子



毎朝通学路で子どもたちを見守る様子



月に1度の市民安全パトロール隊委員会で情報共有する様子

長年、武蔵野市に住み、地域を知り尽くした市民によって平成16(2004)年に結成された「武蔵野市市民安全パトロール隊」。現在、64名の市民によるボランティア隊員が東地区・中央地区・西地区の3地区に分かれて防犯パトロールを行っています。小学校の登下校や学童保育からの帰宅時間帯に合わせて見守りを実施しており、月に1度は、各地区の隊長・副隊長、武蔵野警察署、市、ホワイトイーグル、ブルーキャップが集まり、報告や情報交換を行うなど、緊密に連携をとりながら活動を続けています。

「普段、隊員は各地区でおの活動をしています、合同でのパトロールも定期的に行っています。隊員は、かつて地元の消防団で活動していた方も多く、正義感や地域愛の強い方ばかりです。地域を見守る目は、少しでも多い方がいいと思っています」と市民安全パトロール隊・東地区隊長の保谷昌弘さんは語ります。

紺色のキャップ

市民安全
パトロール隊
の服装

白色の
ジャンパー

パトロール
隊員証

腕章



背中には大きな口
ゴマークが入って
います

地域の未来を担う子どもたちを見守るのが大人たちの使命です

市民安全パトロール隊
東地区隊長 保谷昌弘さん

武蔵野ワンワンパトロール隊

西久保公園、武蔵野中央公園周辺の愛犬家を中心として平成16(2004)年に発足。愛犬の日々の散歩とともに、地域の防犯にも目を配る活動を続けています。散歩中にごみを拾うパトロール隊独自のクリーンキャンペーンや、吉祥寺駅前で行われる歳末環境浄化特別推進パトロールなどの武蔵野市のイベントにも積極的に参加。安全なまちづくりに貢献する活動が高く評価され、警視総監、東京都都民安全推進本部長から感謝状も授与されています。

「時間やコースも含めて隊員はマイペースに活動しています。特別なことをしなくても、人の目があるだけで犯罪の抑止効果はあるのではないのでしょうか」と代表の織井隆司さんは語ります。現在、隊員は約100名。活動も16年を過ぎ、「飼い犬も飼い主も高齢化しているのです。若い世代の方にも参加してほしいですね」とのことです。



武蔵野ワンワンパトロール隊
代表 織井隆司さんの愛犬
ジニーちゃんとチャチャちゃん

もし不審者を見掛け
ても、直接声は掛けず
に110番通報するよう会
員同士でルールを共有
しているワン！

街頭防犯カメラの設置支援による犯罪防止



市の補助で設置した防犯カメラ (はなみずぎ防災・防犯会)

子ども・子育て関連施設を中心に市内全域を警戒する「ホワイトイーグル」、吉祥寺駅周辺のつきまとい行為などを指導する「ブルーキャップ」、深夜帯の駅周辺を警戒する「吉祥寺ミッドナイトパトロール」、市民ボランティアが地域を見守る「市民安全パトロール隊」などによる防犯体制が敷かれていますが、市では、さらに犯罪の抑止効果を高めるため、防犯活動に取り組む商店会などの地域団体を対象に、街頭防犯カメラの設置費用や維持・運用にかかる費用の補助を行っています。日頃から防犯活動に取り組む商店会や地域団体が防犯カメラを設置する場合は、市や東京都から補助金を交付できる場合があります。補助金についての問い合わせは安全対策課 (Tel.0422-60-1916) までご相談ください。

「子どもを守る家」と 「みんなで子どもを守ろう自転車防犯帯」

子どもたちが身の危険を感じた時に、一時的に緊急避難できる場所としての「子どもを守る家」、自転車の荷物カゴなどに蛍光色の黄色い帯を取り付け、犯罪を積極的に抑止する「みんなで子どもを守ろう自転車防犯帯」の取り組みを地域の方々の協力のもと行っています。



【申込先】

児童青少年課

Tel.0422-60-1853



地域の治安維持は
子どもたちの安全・安心な
生活にもつながります

ブルーキャップ、 ミッドナイトパトロールが守る吉祥寺

しつこいつきまとい勧誘には毅然とした態度で対応 /

武蔵野市安全パトロール隊「ブルーキャップ」

吉祥寺駅周辺での迷惑なつきまとい勧誘行為に対する指導や警告、通行をさまたげる路上宣伝に対する注意などを行う武蔵野市安全パトロール隊「ブルーキャップ」。平成 14 (2002) 年に制定された「武蔵野市つきまとい勧誘行為の防止及び路上宣伝行為等の適正化に関する条例」に基づいて発足しました。平日は午後 1 時から 11 時まで (土・日・祝日は午後 4 時から 10 時まで)、年末年始も休まず活動し、市民やまちを来訪した方たちが安心して駅前を歩けるよう努めています。



寝静まったまちを人知れず見守る /

吉祥寺ミッドナイトパトロール隊



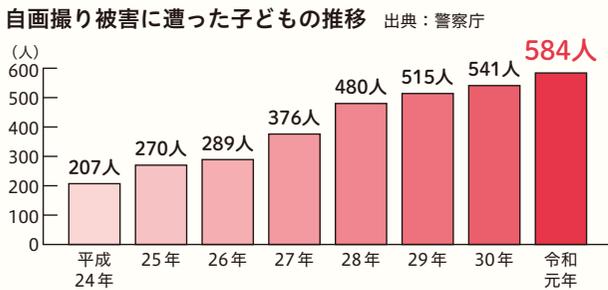
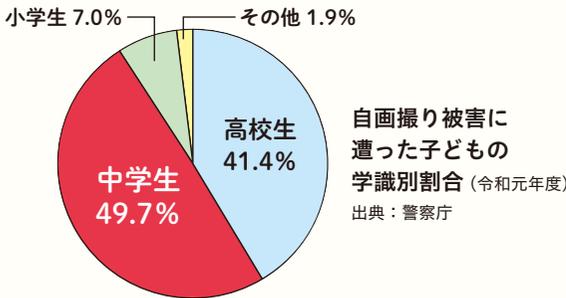
平成 25 (2013) 年に武蔵野市内で発生した強盗殺人事件をきっかけに設置された「吉祥寺緊急安全対策会議」において、警察、学校、地元商店会などが検討を重ねた結果、同年 4 月、深夜帯のまちを見回る「吉祥寺ミッドナイトパトロール隊」が発足しました。ブルーキャップが活動を終える午後 11 時から、ホワイトイーグルが活動を始める午前 7 時まで、2 名体制で吉祥寺駅周辺や周囲の住宅地をパトロール。深夜から早朝の時間帯にパトロールを日常的に行うのは全国的にも珍しいケースです。土・日曜、祝日も含め 365 日活動しています。

知らないうちに
巻き込まれているかも！

インターネット 被害に注意！

警察庁の発表によると、子どもたちの間でスマートフォンやタブレットが普及したことで、インターネットによる被害に巻き込まれるケースが急増しています。最近、特に増えているのが「自画撮り被害」です。友だちや知り合いなどから性的な写真を送ってほしいと頼まれ、断り切れずにスマートフォンで撮影して送った画像が知らないうちに拡散され……という事案が増えています。

周囲の大人からは被害の実態が見えにくいため、知らないうちに深刻な事態になっていることも少なくありません。そうならないように、日頃からスマートフォンなどの使い方のルールを確認し、もし被害に遭ってしまったらすぐに警察などの相談窓口ご連絡をしましょう。



18歳未満の青少年に対し、性的な画像を要求することは犯罪です

悩んだら
ここへ
相談！

- こたエール 東京都民安全推進本部 Tel.0120-1-78302
子どものネット・スマホのトラブル相談窓口です。名前を言わずに相談できます。
- 武蔵野警察署 Tel.0422-55-0110 (代表)
- 児童相談所虐待対応ダイヤル「189 (いちはやく)」
189番にかけると近くの児童相談所につながります。児童虐待に限らず相談できます。
- 武蔵野市安全対策課 Tel.0422-60-1916